

令和5年度第3回学校運営協議会 報告

1 日時 令和6年2月27日(火) 15:00-16:30

2 出席者 比嘉委員、山本委員、奥田委員

3 協議

(1) 今年度 学校教育自己診断の結果

国際交流、行事の充実に対する感触、期待値が大きい。一方で、進路指導・生徒指導の方針が見えないことを課題と感じている。わかりやすく伝えるための見える化が必要。

(2) 今年度の取組について

・探究発表会

今年度から保護者が参観できるように案内した。各学年代表班が体育館にて発表。

(代表発表1班の録画を視聴)

・永春高校オンライン交流

生徒たちは楽しそうに英語を使って交流している姿が印象的であった。次年度からは実際に台湾への訪問と台湾からの来校を受け入れる交流を再開の予定。

・将来構想検討委員会の取組

研究授業や工夫を教える会など、今年度も様々な取り組みを実施。次年度も継続して北千里のために動く。

(3) 令和5年度学校評価について

生徒に限らず、教員も非常にまじめである。将来構想検討委員会をはじめとする数多くの先生方に北千里のために日々頑張ってもらっている。特に授業改善については、過去2年間の府のパッケージ研修の成果を無駄にしないように、将来構想検討委員会が主導で研修をすすめており、多くの先生方が研究授業の見学に来ている姿がある。これを北千里の強みとして、取組を継続していきたい。

(4) 令和6年度学校経営計画について

新たな目標として、2年次までに英検準2級・2級取得者150名を目標とする。

時間外労働は減少傾向だが、80時間超のさらなる削減のための取組(部活動方針の遵守など)を追記。

4 質疑・意見交換及び提言

○学校経営計画について

・1(1)希望する進路の実現“英検資格取得目標”について

・英検取得者の人数を目標とすることは新たな試みとして良いと思うが、現場の先生方は実際どのように考えているのか気になる。

・コミュニケーション力やプレゼンテーション力、英語力は社会に出たら必ず必要となる。これらの力を養うことは、結果として進路実現にも有利であり、社会で必ず役に立つ。だからこそ、英語資格をはじめとするグローバルな力の育成を北千里の強みにして良いのではないか。

- ・探究発表会を一部英語で実施するなどといった取り組みも行ってみたいだろうか。
- ・授業の中で、英語に興味関心を持てるようなきっかけを取り入れてほしい。ニュースや音楽を英語で学ぶことができるような、興味関心を促しながら確かな英語力を育むことを期待する。
- ・大学に入れてよかった、ということが終わりではないということ。大学を出た後にどんな力が必要とされるのか、それをもっと意識させることで、受験のための勉強ではなく、語学やコミュニケーション力など幅広い力をつける学びが大切。
- ・プレゼンテーションの力はとても大事。探究を繰り返ししていってもらうのも重要。
- ・地域連携に関して
 - ・市民はディオス北千里での高校生の活躍を楽しみに待っている。“地域の学校が発表できる場を沢山作ってほしい”といった地域の声が多くある。学校と地域の人的交流をより盛んにするためにも、地域連携において先生方の協力をお願いしたい。
 - ・学校経営計画に英語力に関する目標があるように、地域の人と連携しながら英語を使える場面を作るのはどうだろうか。
 - ・探究活動では、遠足や修学旅行を中心に、地域社会などの外部とのつながりを今後も継続してほしい。

○学校経営計画について、承認された。(欠席委員は書面にて確認済)

5 その他

学校運営協議会 任期などについて